

# 東北会

公認会計士数: 433名



## 会長: 石沢 裕一

Yuichi Ishizawa

任期: 2019年6月～2022年6月

## 「信頼をカタチにする それが私たち公認会計士の仕事です」

日頃より日本公認会計士協会東北会の活動に対し、ご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。私たちは法令に基づく監査のほか、コンサルティング業務や税理士登録による税務業務、組織内会計士や社外役員、地方公共団体の委員等の公職に従事し、監査及び会計のスペシャリストとして、公正な経済活動・社会の健全な発展に貢献しています。

東北会は当協会の16ある地域会として、東北6県を所管しています。エリアは広範ながら、上場企業が少なく中小企業が大多数を占めている地域の特徴から、各県の会員の分布にも偏りが見られます。私たちは株式公開を目指す志のある中小企業を支援し、東北地域経済の活性化に貢献することが重要な課題と考えています。また、企業活動以外における地方公共団体の会計支援、社会福祉法人監査、私立学校法人監査を通して、社会的インフラの持続的活動を保証し、安心して生活できる基盤を支えることも、私たちの果たすべき使命と考えています。

東北会は、会員がこれらの業務を円滑に継続して行えるよう支援するとともに、他の士業団体等の関連団体と連携を深め、公認会計士の資質の維持・向上と多様な人材の活用を主な重点施策として取り組んでいます。

東日本大震災から11年が過ぎ、東北地方においては、公共機関、防波堤、交通網などのインフラ整備が進められております。しかし、いまだ原発事故の後処理問題や農産物の輸出規制などの課題を残し、人口減少と高齢化がより一層進み、新型コロナウイルスの感染拡大も重なり、東北経済の復興の兆しはまだまだ見えてこない状況です。

このような中、我々東北会の公認会計士は、本州の約3割を占める広い地域の中で、非営利組織の監査や、行政・公益組織の役員・委員としての知見を発揮するとともに、中小企業の良き経営アドバイザーとして活躍しております。また、近年、中学・高校において会計基礎教育が始まり、学校現場においても私たちの使命は広がりを見せております。

会員・準会員約500名の東北会の次期会長として、まずは、東北地域の皆様に「頑張っている公認会計士」の業務や役割、活躍現場などを、今まで以上に理解していただくとともに、会員業務の推進と地域経済の発展に尽力してまいります。

今後とも、東北会の活動にご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



## 次期会長: 堤 研一

Kenichi Tsutsumi

任期: 2022年6月～2025年6月

## 公認会計士数の推移 (各年3月末時点)

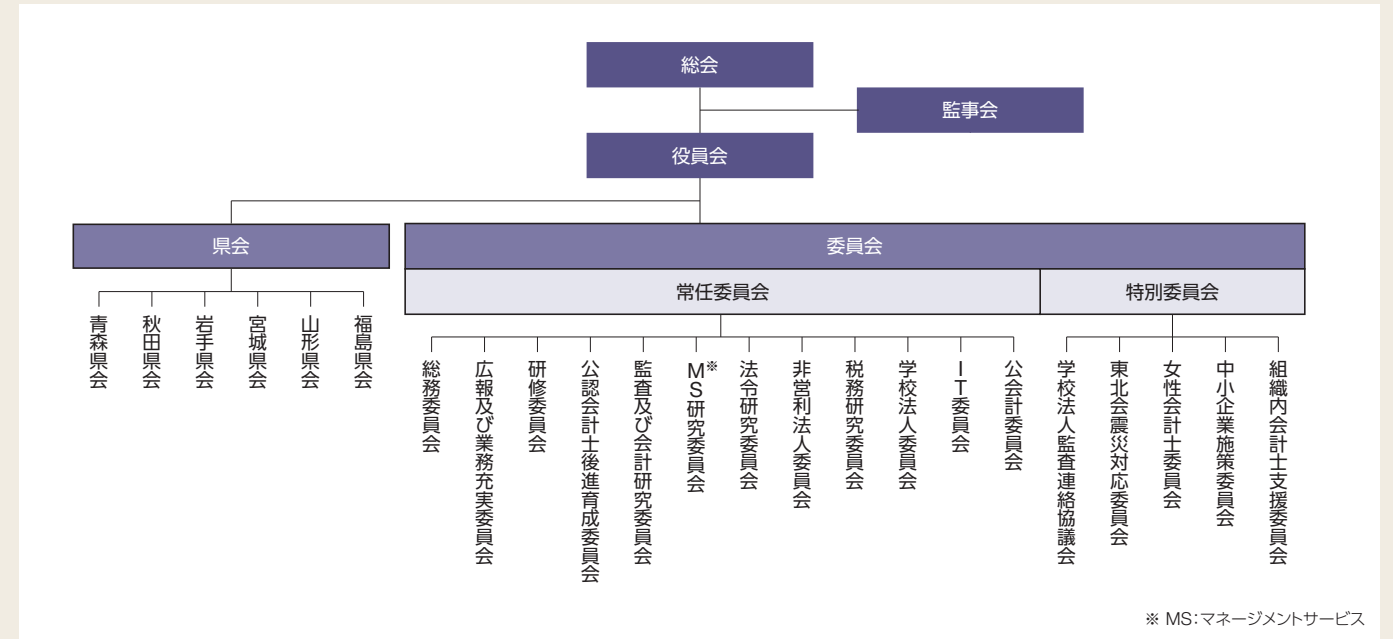
(名)

年	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
青森県会	21	23	24	23	25	26	28	28	28	29	32
秋田県会	11	13	19	18	20	24	18	19	22	22	23
岩手県会	29	30	30	31	29	33	33	32	34	34	37
宮城県会	130	157	178	181	191	199	201	205	198	211	216
山形県会	32	33	35	42	42	44	53	52	55	56	53
福島県会	49	54	58	59	60	66	67	74	74	71	72
合計	272	310	344	354	367	392	400	410	411	423	433*

※上表の数値は会員である公認会計士の人数であり、このほかに準会員(主に公認会計士試験合格者)が72名(2022年3月末現在)在籍しております。

# 東北会

## 東北会組織図 (2022年3月末時点)



## 役員一覧 (2022年3月末時点)

会長	石沢 裕一		
副会長	遠藤 明哲	柴田 純一	伊藤 明彦(兼 山形県会長)
幹事	吉田 柳一郎(青森県会長) 熊谷 真宏(宮城県会長) 大倉 克俊 成田 孝行	泉田 雅俊(秋田県会長) 佐藤 成(福島県会長) 小山 かほる 高橋 和典	戸小台 誠(岩手県会長)  後藤 英俊 渡辺 和栄
監事	前田 正人	花館 達	大出 隆秀

## 1 東北財務局開催研修会への講師派遣

公会計委員会

2022年1月28日、東北財務局において「包括外部監査の結果報告事例から読むアドバイス機能発揮のヒント」のテーマで、東北財務局理財部融資課職員及び各財務事務所の担当職員向け研修会が開催されました。

この研修会は、東北財務局から地方公共団体に対して実施する財務状況把握及び公営企業経営状況監査におけるアドバイス機能について、充実強化を図るための研修会ニーズから、当協会東北会に要請が有り講師を派遣したものです。

講師は当協会東北会公会計委員会の委員長が務め、実際の包括外部監査の公表事例や具体的数値を用いながら、現状の問題点と解決の方向性など、アドバイス機能発揮のヒントについて説明を行いました。

今回の研修を通して、効果的なアドバイス機能を発揮するためには、アドバイスを受ける側の状況を正しく理解し、その状況に適した施策を提言することが重要であると改めて認識しました。我々、公認会計士も相対する誰かの役に立つにはどうすべきかを常に考えて行動しなければならないと感じました。



東北財務局でのセミナーの様子

## 2 福島大学寄附講座「財務諸表監査論」の集中講義

公認会計士後進育成委員会／福島県会

2021年9月6日から10日までの5日間、国立大学法人福島大学にて当協会東北会寄附講座による「財務諸表監査論」の集中講義を実施しました。

本講義は、学生たちに財務諸表監査の必要性和重要性の認識を促し、監査の基本的な考え方を理解してもらうことを狙いとして、2013年から毎年実施しています。また、講義を通して、公認会計士の業務に興味を持ち、一人でも多くの学生が会計専門家を目指すきっかけとなれば光栄です。

講義は、当協会東北会福島県会所属の5名が講師を務め、22名の学生が履修しました。各日、以下のとおりメインテーマを据えつつ、各講師の実体験を踏まえて講義を実施しました。  
1日目：「財務諸表監査総論（公認会計士の業務と制度概要）」  
2日目：「監査計画論（監査計画の策定等）」  
3日目：「監査実施論（実証手続等）」  
4日目：「監査現場での実際の手続きの説明」  
5日目：「監査報告論（監査意見等）」

例年になく関心の高い学生が多かったように感じられ、中には公認会計士試験に合格すべく勉強中の学生もあり、合格への決意を新たにされたようでした。



福島大学での講義の様子

## 3 会計講座「ハロー！会計」の実施

広報及び業務充実委員会

ハロー！会計は、会計基礎教育活動の一環として当協会の地域会が中心となって実施している会計講座です。東北会においても年に2～3回程度、広報及び業務充実委員会が東北六県の学校を訪問し、児童・生徒の皆さんに会計に親しんでいただく授業を提供しています。

授業では児童・生徒の皆さんに質問しながら、徐々に会計の世界に引き込んでいくのですが、昨今の新型コロナウイルス感染症の影響で、学校を訪問し、実地での開催が制限される状況になりました。そのような中ではありましたが、2021年度も青森県立青森商業高等学校からお声がけをいただき、Zoomを活用したリモートでのハロー！会計を実施しました。簿記の勉強に取り組み始めた生徒の皆さんを対象に、講師2人体制でお話しました。今回は特に商業高校出身である講師が、当時の勉強スタイルをお話しました。きっと生徒の皆さんの学習意欲を高められる内容となったことでしょう。

このように、私たちが提供するハロー！会計は、リクエストに応じて柔軟に対応することができますので、是非、東北六県の児童・生徒の皆さんに大いに活用いただきたいと思います。



青森商業高等学校での講義の様子

## 4 女性会計士委員会の活動

女性会計士委員会

東北会では、2017年度から女性会計士委員会を立ち上げ、女性公認会計士の活躍を推進するとともに、当該推進を通じて公認会計士の社会貢献をより一層推し進めることを目的としております。そして、東北会の女性会計士ネットワークを構築し、女性会計士の意見を吸い上げ、当協会本部へ具申することや、必要に応じて、本部の女性会計士活躍促進協議会の支援を受け、女性をターゲットとしたスキルのブラッシュアップ研修やロールモデル紹介イベントを年各1回程度実施することを基本的な活動としています。

2021年度は、前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染予防に配慮して、非対面でのオンライン研修会を実施し、『アンコンシャス・バイアス（無意識の偏見）』をテーマに取り上げました。コロナ禍でなかなか会えない会員各位の声を久しぶりに聞くことができました。事前に参加者の皆さんにアンケートを実施し、それを基にして、アンコンシャス・バイアスの弊害について認識し、各自の経験を共有し、その解消策について、有意義な意見交換を行いました。



2022年2月のオンライン研修会の様子